

キャリア教育単元計画

福山市立綱引小学校

学年	教科	単元名（全時数）	教科の目標	研究テーマに対する資質・能力	関連企業等
5	総合的な学習の時間	あびきの産業について調べ、 まとめよう (全 30 時間)	<p>知 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。</p> <p>思 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>主 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。</p>	<p>表現 自分の思いや考えを多様な表現方法を用いて説明できる。</p> <p>チャレンジ 自分の目標達成に向けた計画を立て、取り組もうとする。そして、その取組を定期的に振り返り、改善策を考えようとする。</p> <p>自己理解 自分の将来の夢や目標を持つ。</p>	カイハラ株式会社
次	時	○学 習 活 動	・指導上の留意点	<p>知 思 主 教科の評価規準</p> <p>表 手 理 資質・能力</p>	<p>評価方法</p> <p>他教科等との関連</p> <p>★学力で課題がある内容</p> <p>○作品応募、社会見学等</p>
1	1～8	○新市町の昔から伝わる繊維産業である「備後絣」と、自分が調べたいと思う地域・産業について調べ、比較し、まとめる。	・比較し、まとめる際にまとめ方を提示することで、見通しを持ちやすくするとともに、自分でまとめにくい児童への支援とする。	<p>思 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。</p> <p>表 自分の思いや考えを多様な表現方法を用いて説明できる。</p>	<p>スライド作成の様子</p> <p>★スライドを使ってまとめる力 (ICT)</p>
2	9	○カイハラ株式会社の出前授業を受けることを知り、どんなことを聞きたいかについて考え、交流する。	・カイハラ株式会社についての事前情報は少なくなるようにする。(新市の会社で、デニムを作っている会社であることくらい)	<p>主 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする。</p>	<p>スライド</p>
	10	○出前授業を受けた後、どんな方法で表現するかについて考える。	・全員が同じ方法ではなく、いろいろな方法を使っていいことを伝える。5年生以外にも伝えられるようにというところを目標にする。	<p>主 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする。</p> <p>表 自分の目標達成に向けた計画を立て、取り組もうとする。そして、その取組を定期的に振り返り、改善策を考えようとする。</p>	<p>ノートへの記述</p> <p>話し合いの様子</p>
	11・12	○カイハラ株式会社の出前授業を受ける。	・事前の連携を密に取っておく。 ・話の中で、カイハラ株式会社についてだけでなく、講師の方の思いについても聞かせていただく。	<p>主 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする。</p> <p>表 自分の思いや考えを多様な表現方法を用いて説明できる。</p>	<p>ワークシートへの記述</p> <p>○出前授業</p> <p>★話を聞いてメモを取る (国語)</p>
	13	○出前授業を受けての振り返りを行う。	・講師の方の話を聞いて、自分がどう変わったかについても考える。	<p>知 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解する。</p> <p>主 自分の将来の夢や目標を持つ。</p>	<p>ワークシートへの記述</p>
	14	○学んだことについて、どんな方法で表現するかについてもう一度考える。	・学んだことを、どんな方法で表現し、伝えたと伝わりやすく、分かりやすいのかを考え、次時以降の取り組みへの見通しを持つことができるようにする。	<p>主 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする。</p> <p>表 自分の思いや考えを多様な表現方法を用いて説明できる。</p>	<p>話し合いの様子</p> <p>★友達と話し合う (国語)</p>
	15～25	○それぞれの方法で学んだことをまとめる。 ・1学期に学んだ備後絣と繊維産業の関連性についてもまとめる。	・相手意識を持ち、相手に伝わりやすいように表現できているか、その都度確認を行う。	<p>思 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。</p> <p>表 自分の目標達成に向けた計画を立て、取り組もうとする。そして、その取組を定期的に振り返り、改善策を考えようとする。</p>	<p>まとめ</p> <p>★今まで習ったことと関連付ける (社会)</p>
	26～30	○発表・まとめ			
成果	<ul style="list-style-type: none"> 出前授業の前に、講師の方と打ち合わせを行ったことで、子ども達の疑問や知りたいことについて事前に伝え、そのことを網羅した授業内容にさせていただくことができた。 単元の始めに単元の流れを確認できていたので、自分たちが何かを披露するということに向けて主体的に取り組むことができた。 披露する相手や場所を明確に決めることで、学んだことの表現方法について考えながら、活動することができた。 				
課題	<ul style="list-style-type: none"> 児童が事前に質問を考えたことはよかったが、質問に対する答えをほとんど言っていたので、聞いた話の中から質問が生まれなかった。 コロナ禍で、実際に工場を見学できなかったため、具体的に工程についてイメージできなかった。 1、2年生を対象に披露した児童は、内容が難しいことから、あまり伝わったという実感が湧かなかった。 				

